

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2013年1月1日 第59号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

明けましておめでとうございます

9条の会・北九州憲法ネット代表世話人 荒牧啓一

昨年の総選挙は、自民党と公明党が、320を越える議席を獲得した。320という数字は、参議院で否決された法案を衆議院で再可決できる衆議院の議席の3分の2。しかし、この結果は「敵失」(毎日新聞)であり、自民党への国民の期待が広がったものではない。このことは、安倍晋三自民党総裁(皆さんがこの記事を読むころは、バツイチの内閣総理大臣に就任か)も自覚しているようである。自民党は、大敗し政権から転がり落ちた前回の衆議院選挙から比例で219万票、小選挙区では166万票も減らしている。にもかかわらず低投票率のため小選挙区では4割台の得票率で8割の議席を獲得したものである。

低投票率の原因のひとつに、どうせ「死に票」になるのなら投票に行かない、という人も沢山いたようである。小選挙区制が民意を反映せず、1票差でも勝ちという不公平な選挙制度であることは明白であるが、そもそも国民を選挙に参加させないという問題点もあるようである。

更に今回の結果は、憲法と9条にとっても、重大な危機である。自民党は、安倍総裁のもとタカ派路線を鮮明にし、選挙公約で憲法解釈を変更した「集団的自衛権の行使」や憲法そのものを改定して自衛隊を「国防軍」とすると明記した。これに日本維新の会や民主党も賛同し、憲法改正、集団的自衛権の行使に道を開こうとしている。毎日新聞(12月17日)によれば、総選挙中の候補者へのアンケートを当選者で集約したものとして、集団的自衛権の見直しに賛成は78%、9条改正に賛成は



9条の会・北九州憲法ネット代表世話人荒牧啓一弁護士

72%とのこと。驚くべき数字である。これを09年の前回選挙の当選者のそれと比べると集団的自衛権の行使を見直す必要ないが50%、見直すべきが37%、9条改正反対51%、賛成34%という結果であった。この数字は、実際の民意とは掛け離れていると思うが、中国の尖閣諸島への領海・領空侵犯、竹島問題、北朝鮮のミサイル発射などを受けて、国民世論も右傾化し、勇ましい話に乗る傾向がある。

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」(日本国憲法前文)、憲法9条で、戦争を放棄し、戦力は持たないこと、交戦権は認めないことを決めた。この憲法9条のお陰で、戦後67年間、日本は海外での戦争で1人の外国人も殺さず、日本人が殺されることも

なかった。憲法9条は無力だといわれるが決してそんなことはない。憲法9条の存在と、9条を守ってたかかって来た歴史と運動がある、憲法及び9条の考えの普及と定着が、「集団的自衛権」の存在を否定し、自衛隊の太平洋統合軍構想や日米同盟の強化を阻止し、遅滞させてきたものである。

朝日新聞(12月19日付け)に川島良吉(94歳)さんの記事が載っていた。先の総選挙で全国最高齢の候補として、埼玉12区から立候補して「日本国憲法は最高！第9条を守ろう」と訴えた。供託金

300万円は「葬式代」としてためていた分をあてた。「国防軍」「憲法改正」そんな言葉が飛び交うことに危機感を持った。2169票を獲得したそうである。

今こそ、憲法及び9条は、必要であり重要である。一人ひとりが、新年の今から出来ることをやっいていこう。憲法9条を学習し、広めていこう。「こんな右傾化の動きは長くは続かない。国民はそんなバカじゃない」(川島良吉)という言葉信じて。

集団的自衛権、8割が容認 衆院選当選者

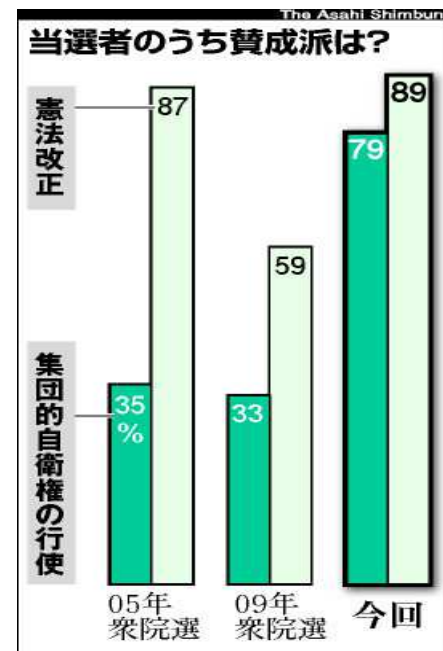
衆院選の当選者のうち、憲法改正の賛成派が89%に達したことが、朝日新聞社と東京大学・谷口将紀研究室の共同調査でわかった。集団的自衛権の行使についても賛成派が79%を占めた。自民党の圧勝に加え、日本維新の会などでも賛成派が多いことが、全体の数字を押し上げた。

候補者対象の調査から、当選者の回答を抽出した。「憲法を改正すべきだ」との意見に68%が「賛成」、21%が「どちらかと言えば賛成」と答え、合わせた賛成派がほぼ9割に。反対は4%、どちらかと言えば反対は2%にとどまった。

憲法改正の賛成派は、自民が大勝した2005年衆院選後に87%に達したが、民主党が政権を奪った09年の衆院選後は59%に下がっていた。参院では、07年選挙後が57%、10年選挙後も61%にとどまっていた。

憲法改正の賛成派は、自民が大勝した2005年衆院選後に87%に達したが、民主党が政権を奪った09年の衆院選後は59%に下がっていた。参院では、07年選挙後が57%、10年選挙後も61%にとどまっていた。

また、憲法9条に関連する集団的自衛権の行使では、05年に改憲賛成派が9割近くになった時でも賛成派は35%、09年も33%にと



改憲・集団的自衛権、賛成派は？

どまったが、今回急上昇。自民党の安倍晋三総裁の持論が支持を広げている。

憲法改正には、衆参両院で3分の2以上の賛成による発議が必要。実際には党派ごとに対応を決めるとみられるが、当選者の賛否だけを見れば、衆院ではこのハードルを越えている。

(朝日新聞デジタル版 2012年12月18日)

あんなことコンナコト

(「憲法9条を守る折尾の会ニュース」No.86 2012年10月号より)

先日、折尾駅東口へ行ったら駅が閉鎖され、隣のコンビニにもなくなり、市営バスは1台もなく歩道はロープが張ってあり通行できなくなっていて、「駅舎の解体工事が始まるんだな」と思いました。以前トイレがあった付近に仮設の東口が出来ていましたが人通りはまばらで、いつも客待ちしていた10数台のタクシーは数台しかいません。仮説ですが新たに北口ができており、新折尾駅の正面はそちらになるそうです。

16年前に大膳に移り住み約3年生活しましたが当時は西鉄電車をよく利用しました。今でも駅前の宣伝行動とオリオンプラザや福岡市での会議等に折尾駅を利用していますし、駅周辺には民商會員の店がありますので新聞配りで毎週来ています。

堀川沿いにはたくさんの小料理店、居酒屋、焼



鳥屋、スナックが軒を連ねており、カクウチや今では希少な古本屋、お茶屋や銭湯まであります。たまにそこで一杯飲んで帰ると東口前は、タクシー待ちで人が並び、高校生、若者、会社員があふれ、市営バスも数台停車し、駅まで迎えにきた自家用車で混雑し活気のある光景がありました。同じ光景をもう見る事がないと思うとさびしさを感ずります。駅舎を残そうと長年運動してきた方々はもっと残念でならないでしょうけれど。

新折尾駅ができれば周辺道路の交通渋滞や複雑な駅の構造は解消し、綺麗になって利便性も増すでしょう。また、いずれは堀川沿いの飲食店も立ち退きになる計画のようで折尾駅周辺の光景は大きく様変わりすることになります。

折尾駅周辺の再開発が駅利用者、住民、市場や商店、飲食店にとって「よかった」といえるものになるかどうかは分かりませんが、折尾の街をこよなく愛する人達が引き続き、愛せる街になることを願いたいと思います。(事務局 田代順二)

事務局の望(忘)年会しました

八幡東九条の会 安達恵美子

衆院選終了後の12月20日、八幡東九条の会事務局は地元中華料理店・華兆亭で毎年恒例の望年会をしました。参加者7名、平日のことで松井岩美代表は仕事のため参加されませんでした。

料理が並ぶ前にまず今年最後の事務局会議です。ニュース32号の編集企画について検討しました。衆院選の結果、憲法改正を公約に掲げた自民党が勝利したことで東九条の会としてコメントを掲載しなければならないと意見が一致しました。どういう視点でコメントを書くのかが大変むづかしいところです。事務局員全員の論議を経てコメントを作成することにしました。それぞれが意見を出し合って、時々脱線しな

がらも論議がすすみました。

料理が運ばれ乾杯。美味しい料理とビールを飲みながら、九条改正を目の前にして改憲阻止の覚悟、会の活動から青年時代の活動、なぜか農作業の話

しも、話題は広がっていきました。年明けのDVD上映会は楽しい作品を選んで

上映することも決めました。



訃報

10月6日、「9条の会・北九州憲法ネット」事務局員の酒見辰正さんが病気のため亡くなりました。享年68歳でした。酒見辰正さんは、「9条の会・北九州憲法ネット」発足当初からのメンバーの一人として献身的に奮闘された方でした。酒見さんは、各地の9条の会の学習会に講師として呼ばれ、その講演は、明快で的確と歓迎されていました。それは、探究心旺盛で日常的な学習の蓄積の酒見さんらしさの現れでした。北九州の反核平和運動に欠かせない活動家でした。生前のご奮闘に改めて敬意を表し、ご冥福を祈ります。

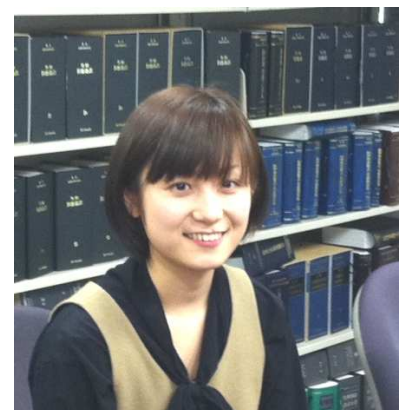
カンパ有難うございます。そして、お願い。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。 **振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」**

10月カンパ 中川紘子 松井岩美 桑田勲二 **11月** 東繁利 扇崎光雄 野瀬秀洋 末次美智 勝元紀 中村洋一郎 樋口ロコエ 谷口義光 谷口靖子 高野和夫 原野礼子 小沢和秋 諸岡昭三郎 西法寺西村達也 古賀三千人 江藤恭子 森田禮三 岩下照雄 三崎英二 古野和彦 丹下徹 原野武 渡辺末子 小川由美 豊福直美 玉井史太郎 来田時子 高瀬紀子 三浦仁士 **12月** 松永奉義 丹下徹 野瀬秀洋 安永亮 小池正信 佐多道人 大重幸彦

メッセージ ニュースありがとうございます。 11/6 A. S ●再び戦争を起こす事のない社会を目指してがんばりましょう 11/6 O. M ●資料代として 11/6 S. M ●お疲れ様です 11/8 N. Y ●体調こわいいつも失礼しています。お疲れさま 11/8 T. Y ●いつもたのしみによんでいます。これからも頑張ってください。 11/7 T. K ●いつも通り会費、紙代のつもりです。よろしく 11/7 O. K ●私も高齢化して、頭の働きも身体の動きも鈍くなりました。活動されている皆様には申し訳ありません。ご寛容ください。 11/12 K. M ●カンパ 11/13 M. R ●活動カンパとして 11/14 M. A ●郵送料にでもお使いください。 11/16 H. T ●忙しくなりますね。くれぐれもお身体をご自愛ください。いつも気持ちばかりで申し訳ありません。 11/19 O. Y ●わずかですが月1000円と思ってカンパします。これからもよろしく願います。 11/19 W. S ●したりげに反共を説く人らまた権力の走狗に飼ひ馴らされて 11/21 T. F ●いつもニュースを送っていただきありがとうございます。 11/23 K. T ●縄田弁護士資料、多くの方にお配りし、九条改悪阻止の訴えとして使わせていただいています。時にかない送ってくださりありがとうございました。これからも連携をよろしく！ 11/27 T. N ●いつもニュースを届けて下さりありがとうございます。わずかばかりですが資料作りの足しにして下さい。 12/10 M. T

+

第3回憲法連続講座**2月23日(土) 14時****会場 黒崎ひびしんホール 2階小練習室****演題「憲法をめぐる新しい情勢と課題」****講師 諸隈美波弁護士**(北九州憲法ネット事務局次長)

諸隈美波弁護士